

刊夕日六月一



刊日 定価 一部全紙一ヶ月五拾銭 郵税五厘 廣告料五號十二字一行情五拾銭 日曜祭日の翌日休刊 発行所 常磐毎日新聞社 印刷所 常磐毎日新聞株式会社

子の年に困んだ

童話二篇(一)

榎葉 勇

『鼠は鼠』

(一)

一匹の小鼠がゐりました。外へ出て遊びたくてたまりませんでしたが、大嫌いな猫や犬が恐いので、いつも穴の中にかくれてゐました。でも今年のお正月になると『今年はお正月だ。こんな穴にかくれてゐないで外へ出て見よう。猫だつていつものやうにいちめに來ないだらう』

「僕も猫みたいに強くなりたいな、そしたら怖いものがなくてどんなにいいだらう」とひとりごとをいひますと「そんならお前を猫にして上げよう」といふ聲がどつちから聞えて、見るまに小鼠のからだは猫にかはつてしまひました。

「オヤ、僕は猫になつたぞ、さあ、もう怖いものがない」

小鼠の猫は大喜びで外に出て、いばつて道を歩いてゐました。するとそれを見たり子供たちが聲を立て、笑つてみたりした。

「どうだ、もう、僕より強いものがゐないだらう」とらはうれしくてたまりません。

ところがとらよりも龍がもつと強いことがわかつたので、今度は龍になつてしまつた。でもその龍も雲がなくて空に上ることが出来ないので雲の方が龍よりもえらいと思つて、又雲になつた。雲になると雲よりも風の方がもつとえらいことがわかりましたから、それから風になつた。

風がヒュー／＼とこらをかきまくつてゐると、何かにつきあたりました。

「おや、壁だな、僕は風になつて何んでも吹きとばせられないぞ。風より壁の方がえらいんだ」

風から壁になりました。壁よりえらいものは、もうないだらう」

小鼠の壁はどんなに風が吹いてもビクともしないで立つてゐました。

「大變だ、大變だ、猫がゐる」 小鼠は後を見ないで、一目散に逃げて来て、穴の中に飛びこみました。 「あゝ怖かつた。やつぱり外は危い」 小鼠はまたぶる／＼震へてゐましたが

「僕も猫みたいに強くなりたいな、そしたら怖いものがなくてどんなにいいだらう」とひとりごとをいひますと「そんならお前を猫にして上げよう」といふ聲がどつちから聞えて、見るまに小鼠のからだは猫にかはつてしまひました。 「オヤ、僕は猫になつたぞ、さあ、もう怖いものがない」

お年始のお客様に 魚清のサービス さしみと御飯 吸物おしんこ付 二十五銭 三品 五十せん 五品 八十せん 平二警察署裏通り 魚清食堂 電話六三三三

父藤吉儀永々病氣之處藥石効ナク 四日午前九時死去仕り候ニ付此段 御通知申上候 追テ葬送ノ儀ハ來ル十日午後一時自宅出 棺大寶寺ニ於テ佛式相營ミ申可候 昭和十一年一月六日 親戚 總代 小井柏谷久三三三三三 野上原口世井井井井井 伊幸 佐茂次フ崇文四三富榮 治作郎ク徳吉郎郎吉一

耳鼻咽喉科専門 鈴木醫院 醫學士 鈴木 正男 平町町 (電話五八番) 藤田女學校前 自炊のお需めに應ず 入院の便あり

謹啓母宗儀病氣之處養生不相叶本日 午前一時十分八十二歳の高齡を以て 廣島縣三原町の偶居に於て永眠致候 間諱而生前辱知各位に御通知申上候 追テ一月六日午後一時ヨリ三時迄三原町營 火葬場齊場に於テ告別式相營ミ可申候 一月四日 親戚 總代 篠荒好諸朝川川 木原橋井角角 山 直修心勇五兼 廉躬雄一鬼郎吉

歯科口腔外科 レントゲン科 院長東京齒科 原 精一 平町土橋通り 電話三一三番 原齒科醫院

# 正月早々を期して

## 市制の大方針確立

### 合併問題の本格的交渉

#### 今後好轉回か

平町市制施行調査委員会は、来る九日午後二時本年劈頭の委員會議を開會十年中の経過報告並に今後の方針を協議する。

尙隣接町村の合併問題は、好問、内郷兩村よりの回答は思はしくないが今後交渉の結果何等かの有利な展開を見るものと思惟

## 選挙界浄化

### 肅正指導者講習

愈々衆議院議員選挙期日接近し殊更最近の政界状態險惡を思はせる折柄石城、双葉、相馬各町村聯合の選挙肅正指導者養成講習會を一月十日午前九時より平町第

三小學校に於て開催することになり該主旨の徹底を計ることになつた尙参加豫定人員は二百卅三名になる見込である

## 積り積つた...

### 一服の代金

#### 断然黒字を示す

#### 煙草祭りの効果

水戸地方専賣局平出張所の舊臘中の煙草賣上金は六萬四千四百十二圓六十四錢で前年の五萬八千五百一圓六

五錢に比し一分一厘の賣上増進を示したがこれは過般の煙草祭りの宣傳普及により朝日が二萬三千個、チエリ

によるものである尙昨年中の業績は五十萬一千六十三圓四十八錢で前年より九千五百餘圓の増加、このところ専賣局黒字續きでホクホクである

## 上下二本

### 臨時貨車

イ、エヤシツプが各七千個等何れも賣行の良かつたのと軍需インフレの波に乗る炭礦方面の活況、小名濱方面各漁村の鱒景氣等の恩恵

平驛では元日以來上下二本の臨時貨物列車を水戸平間に運轉して居る

## 正月中の乗降客

### 平常の約二倍に

平驛の正月五日間に於ける乗降客は乗車七千七百五十八人、降車七千二百八十八人一日平均千三百人で平常の二倍に當る旅客が連日續い

たが最も人出のあつたのは昨五日の日曜で乗車千七百九人、降車千五百八十三人昨年より一割増加を示して居ると

## 四百萬!

### 素晴らしい

#### 賀状の氾濫

平郵便局の年賀郵便は既記の如く特別取扱期間中の引受數三十九萬五千五百一十一通、配達數卅一萬五千六百三十一通、中繼六十六萬七十五通で昨年に較べ一割七、八分の激増振りであるが元日以

來昨五日迄の年賀状は益々氾濫し現在の取扱數は引受數五十九萬三千三百八十八通、配達數八十二萬四千四

## 今年の新米は

### 品質頗る良好

合格率が昨年よりも良い

平穀物検査所で十年度に取扱つた新米受檢數は合計二萬四千二百六十九俵で前年度の三萬二千四百七十九俵より八千二百十俵を減した

が是は天候不順の爲め例年より出荷が十日遅れた結果であるが検査合格率は九年度の五割八分に對し十年度は六割四分と云ふ好成绩を見せ一般に品質が良好であ

## 第三校の

### 正門道路に

#### 平驛が寄附

平第三小學校正門から國道に通ずる道路改修工事の爲め平驛は寄附金を取纏中であつたが總額五十一圓に達したので此程地元區長に手交した

## ロンドン會議を語る

### 五十鈴艦長千葉大佐講演

帝國在郷軍人會石城郡聯合分會は國防思想普及の爲め来る十四日午後六時平町聚樂館に五十鈴艦長海軍大佐千葉慶藏氏を講師として「ロンドン會議を語る」の講演會を開催する

△双葉郡久の濱町大字久の濱字北町四四鈴木惣七氏方農鈴木武治(九)假名は去る十一月十五日午前七時頃稲架用木材を擔ぎ同町三松地内常磐線鐵道線路に入り同所大久川鐵橋を渡りかけた爲め進行中の急行列車を急停車せしめ過失汽車往來妨害で略式罰金二十圓に處された

## 一册の代金で

### 御希望通りな

#### 五册の雑誌が

## 自由に讀める

### 川崎文庫

#### 電話六三〇番

## 木村病院

### 平町新川町十九

#### 電話一六四番

小新吾氏は去る四日福島地方裁判所檢事局へ榮轉赴任の途に着いたが後任として

福島檢事局から書記杉平權士氏が今六日午後二時五分分着列車で來任した

町日立製作所内大原飯場で數字アテ賭博を開帳し略式罰金各十五圓

△小名濱町上明禮町四八清涼飲料水製造業鈴木喜七(四)は去る五月十日より十三日まで密柑水四五〇本にサツカリンを混入使用し略式罰金十圓に處された

## 平町人事

### 出生

△白銀町四〇益廣益治氏二男孝さん

△四丁目三五江尻幸平氏二男直司さん

△二丁目當時宮城縣玉造郡鳴子町字新屋敷八五三井善治郎氏二男憲一さん

### 回死

△新川町八長小次郎さん(七一)

△古銀治町一七田口親功さん(二二)

△長橋町三〇當時栃木縣那須郡芦野村大字芦野齊藏三枝さん(九)

# 正月酒の千鳥足を

## 轢き倒して逃走

### 相棒の酔漢が大聲に喚く

#### △被害者は瀕死の重傷

内郷村大字綴字新敷地内國道の昨五日午後八時頃瀕死の男を傍に土工風の酔漢が高聲をあげてゐるのを湯本町より平町に向けて疾走し來つた平町尼子自動車部の乗合自動車乗客が発見此旨急報に接した平署は瀕死の男を平町諸橋外科醫院に入

## 管内の自動車を

### シラミ潰しに嚴探中

#### 消燈して逃げたか

別稿泥酔者を轢き逃げした自動車の行方は平署が本六日にかけて管内平、湯本方面の自動車を武つぶしに嚴探中であり本明中には判明すると思はれるが本稿締切りまでには未だ犯人が検

## けふの出初

### 梯子乗りの壯觀

#### 縣社々頭に無火災祈願

新春を迎へて恒例の平消防組出初式は本六日午前六時半消防諸所に國旗掲揚式を擧式して無火災祈願を

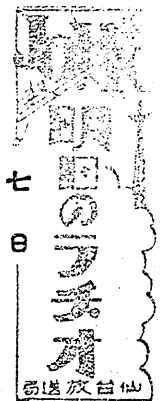
## 永年勤績

### 平消防表彰

千の人数を見た尙午後一時よりは新川端空地にたるま競技玉落しの演習あり完備を誇る平消防組の偉力を遺憾なく發揮し民を感動させ

平消防組は本六日の出初式に當り午後二時から聚樂館に組員表彰式を行ひ左記永年勤績者に記念品を贈つた

- △永年勤績表彰者(四十年) 小頭高根澤長太郎
- (二十年) 小頭佐川三良、消防手正木廣造(十五年) 消防手菅本市之助、同永澤義一△本期間精勤表彰(特賞) 消防手古山吉之助 消防手清原一男、外第一部十九名、第二部七名、第三部十二名△永年勤績者(三十年以上) 小頭浦井兼作、伍長根本幸次郎、部長岡田政次郎(廿五年以上) 部長鈴木長三郎、消防手古山吉之助、小頭田中宣治、消防手宗像國治(廿年以上) 部長鈴木彌太郎、小頭三井富吉、伍



今晚の部  
後六、〇〇 子供の時間  
お話一誰にも出来る遊びと手品「子供のテキト」  
編舞部  
後六、二五 農村經營の成  
功談「金融と販賣に特色ある村の産業組合」柴山久司

今晩の部  
後七、三〇 新内「恭太平記白石噺」富士松富士太夫他  
後七、五五 ラデオ風景  
「謹賀新年」森野銀治他  
後八、二五 一中節「石橋」都一梅他  
後八、四九 管絃樂 通俗名曲「新世界交響曲」新交響樂團

長阿部治作、同菊日萬吉  
消防手辻金太郎、同大野松之助(十五年以上) 織田万次郎、岩本淺吉、金成

## 繩なひの代金を

### 授業料に當てる

#### 飯野校の訓導が未納の整理に思ひ付く

飯野小學校高等二年受持訓導高杉清壽氏は從來受持級の授業料の未納が多いので児童五十八名を指導して繩なひを獎勵し此程共同販賣を行つたが同主旨に感動した平町月見町鈴木勇氏は既に十三圓八十錢分を購入現在製品は山と積まれてあるので三月末迄には此の賣上代を授業料に當てられると、村當局及父兄から喜ばれてゐる

## 表硝子を破つて

### 鐘詰窃取の怪漢

#### 懐中には多数の煙草類

平町南町二一小池玄之助方表硝子戸を五日午前三時頃石地様のもので破壊店内から鐘詰類を窃取せんとした怪漢あるを折柄巡回中の署員が発見逮捕したが右は福

後九、三〇 時報 ニュー  
氣象通報 番組豫告  
明日の部  
前七、三〇 御製謹話「後鳥羽天皇御製」三宅龍子  
前八、〇〇 母の時間  
「若くは人と讀書」安井啓  
後八、〇〇 五ラデオレビュウ「出戻らぬ花嫁」ムーラ  
ンルージュ連  
後二、〇〇 婦人の時間  
「百人一首に現はれた閨秀歌人」今井邦子  
後四、二〇 關西相撲實況  
大阪借行社前中繼

書の結果學生部の優秀者三人に褒状を授與し記念撮影後茶話會に移るが會費は食事付金五十錢で一般の來會を歓迎すると  
市原晚岳 佐々木秀峯  
吉田士筆 辻峯月 大谷常道 宮川龍石 關口松宇

## 盤上に火華

### 校長連手合

郡下小學校長の圍碁新春初手合は今日午前十時より平第二校裁縫室に催されたが盤上火華を散らし盛會を極めた

後六、〇〇 子供の時間  
童話劇「七福神の座談會」  
後六、二五 農村經營の成功談「購買と利用に特色ある村の産業組」台川名傳  
後七、三〇 東京寄席中繼  
上野鈴本より：落語「新年會」圓生「さるや」文治  
講談「茶碗屋敷」貞山：京都新極富貴より：漫才「正月太平樂」芳子、市松  
音曲「吹寄せ」圓若 落語「さかさま仁義」春園治外  
數種

## 長氏逝去する

町前區長長小次郎氏は去る五日心臓麻痺で突然逝去された、享年七十一、一般に惜れてゐる、葬儀は明日午後二時自宅出棺明賢寺に於て行はれる  
川角區長母堂逝去、長橋町區長川角兼吉氏母堂宗媼は八十二才の高齡を以て去る四日廣島縣三原町紡績技師長川角五郎氏宅に於て永眠され今日午前記三原町營火葬場にて告別式を執行了

## 行政區長

### 各種案協議

平町各區行政區長會は來る八日午前二時より會議室に開會本年度各種案に就き協議する

## 書初會

### 優秀者に褒賞を授與

過般名古屋市長清書道會長





（著上） 悟道軒圓玉（作） 丸尾至陽（畫）

一六 落合つた二人

女「大層親分お早いやうでございませぬ」

と云はれて庄七がアハハと笑つたが

庄「女房がやかましいからな、御門切れに歸ると御臺所さまの御機嫌がよくねえ勘定は借りて行くぜ」

女「ハイ畏まりました、お静かに行らつしやいませ」

庄「また来るよ、あゝ酔つた酔つた」

といひながら二人の子分と共に二階を下りる。

庄「オイ清見イ、今こゝを出て行つた客は何つちへ行つたえ」

聞かれた下足番の清公が清「木挽町一丁目の方へお出でになりましたよ、何だか念いでみましたか」

庄「さうか、少し聞くことがあるんだ」

三人は松田を出て一丁目の方を指して行く、三島三郎は木挽町の川を前にした堀織部正の屋敷に行く、庄七は子分に耳打をして二人を相手にまはし三郎の来るのを待ち受けた、三島はかくとは知らず木挽町一丁目の川岸まで来たがもうこの時は夜の五ツ半かれこれ四

れと同時に「御用だ、神妙にしろ」

ツあの邊は夜になると往來する人も至つて少い、すると向ふから駆けて来た男が泥棒と言ひながら三郎にどしんと突きあたつた、三島



は一足あとにさがつて

三「これ何をする」

○「旦那助けてくださいませ、追剽に出會ひました、わつちを追ひかけて来ます

……」

といつたがバツと飛びついて三島の脇差を鞘ごと引き抜いてさつと投げた、こ

れと同時に「御用だ、神妙にしろ」

とうしろから一人組み付いた、三郎は組まされて置いて兩足をグツとひろげた、これがために組んでゐた手がとけてズル／＼と前へ體が延びた二郎はスルリとすり抜け足をあげて其奴の腰を蹴るとバツタリ仆れた。

「御用だ」と又も左右から組付くを身をかはしてこれをさけ衣類を襟を引つかんで二人を引き立てたが力大な三島一振り振つて前の川へ

／＼と駆け行き堀の屋敷のうしろにまはつたがこゝには築地塀がある折しも暗を縫つてこゝへ忍んで来た一人、これも築地塀の前へ佇んだがやがてスル／＼と登つて門内に入つた、續いて三郎も塀を越えて屋敷内へとび込むと

○「誰だ、何者だ」と先に入つたその人がとがめた。

三「貴公は吉野ではないか……」

○「おう三島か、その許とは知らなんだ」

三「油断はならぬぞ、今この先で手先に出會つた、其奴等を川に投げ込み打仆してこれへ參つたが、吾々に目をつけて居るぞ」

政「さうか、もう手がまはつたか」

三「殿様にお目通りの上ヒエトスケンを刺し止めたこと

とを申し上げねばならぬ」

政「突然御殿へ踏み込むこともなるまい、此方へ來なさい」

と二人は打揃つて中の口に來た、これを内玄關と申す。

政「誰方が居られるか」

聲をかけるのをそれへ出て來たは中小姓の梅村金彌金「これは御用人様でございませぬか、おゝ三島様もお出になりましたか、これへお通りください」

政「殿様にお目通りを致して申上げることがござる。二人が見えたことをお取次下さい——これ梅村何うした泣いて居るではないか。金「殿様にお會なされたとお言葉を取くことはなりませんまい」

これを聞いて二人は顔と顔を見合せた。

は天高く馬肥えると申しますね。否馬ばかりではありませぬ、人間も夏の炎暑から開放なつて食欲の増す時季でありますから、随つて健康な人は肥えて參ります。然るに不幸にして胃腸の弱い人は、此の自然の恩恵に浴す事出来ず益々弱つて行きます、左様な不幸な人を救ふには靈効散と言ふ靈藥があることを御存知ですか。三年五年の永い慢性胃腸病の全快した人は澤山あります。胃腸病、心臓病、肺、痔等を痛む人は明日と言はず今日直ぐ御試下さい。御望の方には御試用として見本藥を阿康藥局で差上ります。御遠慮なく御來局下さい。他店では見本藥差上げません是非左記へお出下さい

平町古鍛冶町縣社ノ下

靈効散一手販賣 阿康藥局

電話 四四四番 振替口座東京三〇三番

磐城セメント會社特約店 久全區區區

磐城平町五丁目 電話九九九番

難波 陸

内科一般 醫學博士 難波 陸 看護婦募集 平町大町新川端 電話五〇二

ほねつぎ 桑原柔道整骨院 平町園下電話六七四

門 專 産科 婦人科 花柳病科 入院隨意

井坂醫院 平町田町 電話五五九番